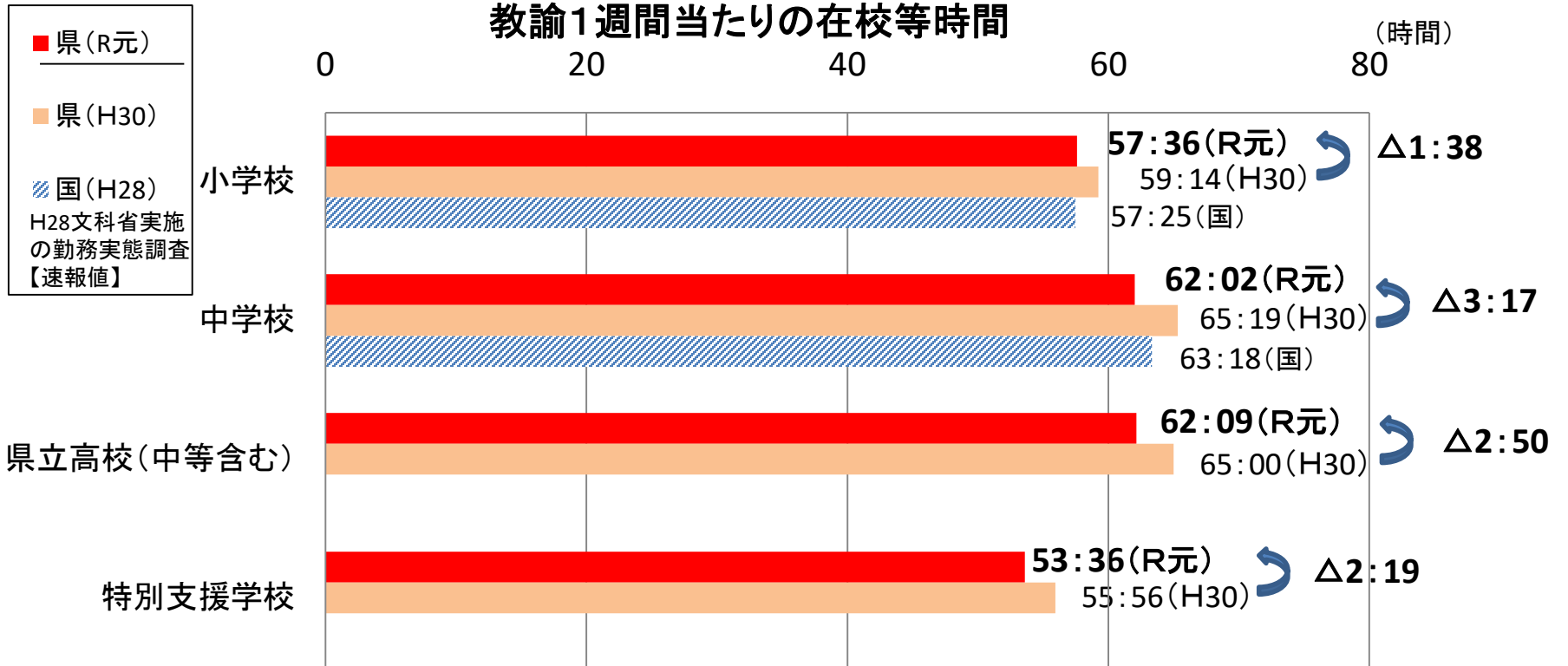


勤務実態調査(R元.11月)の結果【愛媛県】

教員の勤務実態を把握するため、勤務実態調査を実施しました。
 スクール・サポート・スタッフの配置や、教職員の働き方に対する意識改革の浸透等により、1週間の在校等時間が、昨年度と比べて大幅に減少しました。

調査期間：令和元年11月の通常の教育活動を行う連続する7日間
 調査対象：県内小学校40校、中学校20校(各市町より小2校、中1校を抽出)
 県立学校12校(高校9校・中等1校、特支2校を抽出)



※調査の平均回答時間(1週間につき 小学校64分、中学校66分、
 県立学校(H30:42分、R元:47分)を差し引いている。ただし、休憩時間は含む。(文科調査と同様)

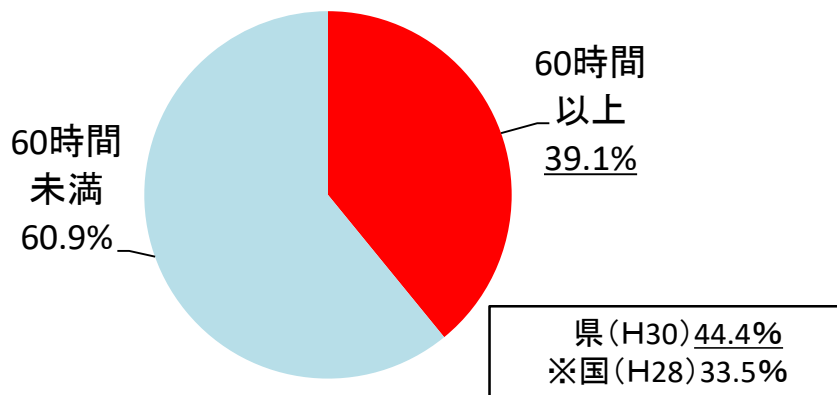
<1週間(7日間の合計)当たりの在校等時間が60時間を超える教諭の割合>

◎ 小学校で約5割弱、中学校で約7割あった、60時間勤務(時間外勤務:月80時間相当)の教諭の割合が、それぞれ4割弱、6割弱に減少しました。

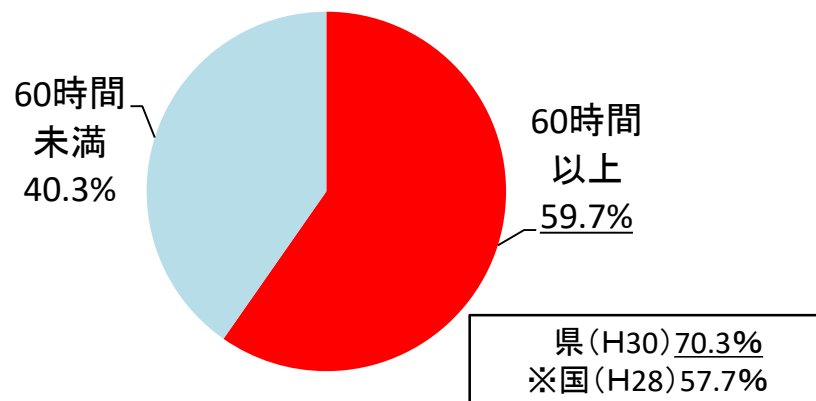
◎ 県立高校(中等含む)で7割弱、特別支援学校で約3割あった割合も、それぞれ6割弱、2割弱に減少しました。

□ 内は60時間以上の割合

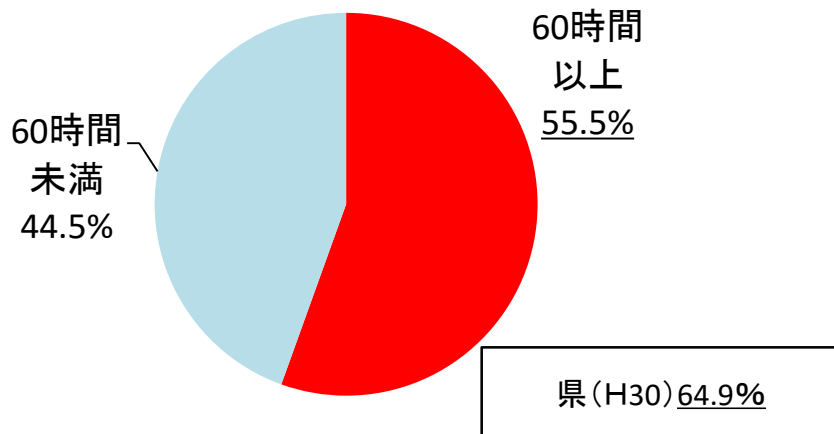
小学校



中学校



県立高校(中等含む)



特別支援学校

